

# 風しん抗体検査・予防接種を公費で受けられます

公的な接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は、抗体保有率が他の世代に比べて低くなっています。

## 対象者

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性(過去に抗体検査で陽性の方、過去に風しん予防接種を行った方は対象外となります。)

※令和4年度に「風しんにおける抗体検査券および予防接種」クーポン券を発送しています。

**クーポン有効期限** 令和7年2月28日(金)まで

## 実施方法

指定医療機関や特定健診、事業所検診等の機会にクーポン券を提出し、抗体検査(血液検査)を受け、抗体検査の結果、抗体価が十分でない方は、後日予防接種を受けることになります。

**抗体検査・ワクチン接種費用** 無料

抗体検査を受けられていない方、クーポン券を紛失された方は、再発行しますので、健康推進課へご連絡ください。

**問合せ** 健康推進課 甚目寺保健センター ☎443・0005 FAX443・5461  
七宝保健センター ☎441・5665 FAX449・1037  
美和保健センター ☎443・3838 FAX443・3839

# ヒトパピローウイルス(HPV)感染症(子宮頸がん)予防接種について

平成25年6月以降、厚生労働省の勧告に基づき、接種を積極的にお勧めすることを差し控えていましたが、ワクチンの有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから、令和4年4月から個別の勧奨を再開しました。

予防接種を受けようとする場合には、ワクチンの効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持ったうえで接種の判断をしてください。厚生労働省公式ウェブサイトにワクチンの有効性や安全性について掲載されていますので、接種の判断の参考にしてください。

## 1 対象者

- ①平成20年4月2日から平成25年4月1日生まれまでの女子(小学校6年生～高校1年生相当)
- ②平成9年4月2日から平成20年4月1日生まれまでの女性

## 2 接種期間

対象者①:16歳となる日の属する年度の末日まで 対象者②:令和7年3月31日まで

## 3 接種方法

ワクチンはサーバリックス(2価)、ガーダシル(4価)、シルガード9(9価)の3種類があります。接種回数・間隔は接種するワクチンの種類や接種開始年齢により異なります。標準的な接種間隔は右の表となります。いずれのワクチンも1年以内の接種完了が望ましいとされています。



## 4 費用 無料【前述の接種期間内に接種した場合に限ります。】

## 5 接種当日の持ち物 予診票および接種済証 ・ 母子健康手帳 ・ 健康保険証 等

○指定医療機関で接種できない方は、接種前に保健センターまでお問い合わせください。

○HPV感染症予防接種後に症状が生じた方に対する相談窓口については、愛知県公式ウェブサイトに掲載されていますので参考にしてください。

**問合せ** 健康推進課 甚目寺保健センター ☎443・0005 FAX443・5461  
七宝保健センター ☎441・5665 FAX449・1037  
美和保健センター ☎443・3838 FAX443・3839